Technical Information

# ひとつのキャリパーに無限のデザイン
# 大型二輪車向け FSW 対向 4 ポットキャリパー2026

- **着脱式の意匠カバーにより、ブレーキキャリパーを「魅せるデザイン」へ進化**
- **キャリパー本体を共通化したまま、車種・ブランド・特別仕様に応じた多彩な表現を実現**
- **FSW モノブロック構造の性能と、カバー交換によるデザイン展開力を両立**
- **EICMA2026 で個性の異なる複数のデザインを展示**
- **カバーに関する技術とデザインについて、特許・意匠の出願を通じた知的財産権保護を推進中。**





**足回りに多彩なデザインを。Astemo は、FSW（Friction Stir Welding＝摩擦攪拌接合）モノブロックキャリパーの性能をそのままに、着脱式の意匠カバーで車両の表情を自在に変える新たなコンセプトを提案します。キャリパー本体を共通化しながら、カバーの素材・色・造形を変えることで、車種やブランドにふさわしいデザインを展開。ブレーキキャリパーを、性能だけでなく商品価値を高めるデザインアイテムへと進化させます。**

ブレーキキャリパーは、もはや制動性能だけを担う部品ではありません。ホイールまわりで強い存在感を放つその意匠は、車両のキャラクターを際立たせ、ブランド価値や乗り手の所有感を高める重要な要素になっています。

Astemo が提案するのは、2023 年の EICMA で発表した大型二輪車向け FSW モノブロックキャリパーを進化させたコンセプトモデル「大型二輪車向け FSW 対向 4 ポットキャリパー2026」です。FSW 技術によるキャリパーボディの基本構造を活かしながら、着脱式カバーを装着する専用形状を新たに設計。単なる後付けパーツではなく、キャリパーボディとカバーを一体のプロダクトとして作り込んでいます。

最大の特長は、カバーを交換するだけでキャリパーの印象を大きく変えられることです。キャリパー本体を設計し直すことなく、車種やブランドに応じたデザインを展開でき、開発効率の向上にも貢献。特別仕様車や派生モデルにも柔軟に対応し、車両ラインアップに新たな個性とデザインをもたらします。

カバーには、キャリパーボディの造形を活かす L 字型デザインを採用しました。性能部品の常識にとらわれない多彩なバリエーションを展開し、車両の個性を演出するデザイン性を追求。スポーツ、アドベンチャー、クルーザーなど、それぞれの車両コンセプトに響く表情を創り出します。

展示モデルでは樹脂製カバーを採用していますが、量産時にはアルミニウムなどの金属や各種樹脂を選択可能です。金属の質感を引き立てるアルマイト処理、鮮やかなカラー展開、素材と色の組み合わせにより、ブランド独自の世界観を足回りから表現できます。

デザインの自由度を高めながら、安全性にも妥協はありません。制動性能はキャリパー本体で確保しており、カバーを装着しない状態でも本来のブレーキ性能を十分に発揮します。キャリパーボディには従来どおり「NISSIN」の刻印を施し、カバーの有無にかかわらずブランドを明確に示します。

中型から大型排気量の幅広いモデルへの適用を想定しています。カバーの意匠を変えるだけで、スポーツ、アドベンチャー、クルーザーなど、多様な車両の個性にフィット。市場の声を取り込みながら、商品化に向けた可能性をさらに広げていきます。

EICMA2026 では、デザインの異なる複数の意匠カバーとともに本コンセプトモデルを展示します。「ひとつのキャリパーが、カバーひとつでどこまで表情を変えられるのか」。その可能性を、ぜひ会場でお確かめください。

※本 Technical Information 記載の情報は、2026 年 11 月 3 日現在の情報です。予告なしに変更されることもございますので、あらかじめご了承ください。